

製品安全を「価値」に  
その取組を応援します!

# 第16回 PSアワード 製品安全対策優良企業表彰

# 受賞企業紹介



**2022**  
製品安全対策優良企業表彰

## ご挨拶

本表彰制度は平成19年に創設され、今年で16回目を迎えました。

本年度は、昨今の社会情勢の変化に合わせ、①製品安全実現に向けたサプライチェーン全体の管理、②高齢者、子どもの製品事故の未然防止に向けた取組、③情報技術等の新技術を活かした製品安全の実現、それらの新技術がもたらす課題への対応の3点を「特に評価する取組」と位置づけ、募集を行いました。

その結果、これに呼応する形で多くのご応募をいただき、厳正な審査の結果、13企業の受賞が決定しました。受賞企業に限らず、ご応募いただいた皆様方の製品安全に対する真摯な取組は、いずれも素晴らしいものばかりであり、安全と安心を求める社会の要請に応えようとする熱意にあふれる内容であったと、審査を通じて強く感じました。

本表彰制度は、そうした優良な取組を顕彰し、その優れた英知を広く社会に還元することを通じて日本社会全体の製品安全レベル向上が図られることを目的とするものであり、今後さらに製品安全文化が普及・浸透されていくことを願っています。

製品安全対策優良企業表彰 審査委員会委員長 三上喜貴

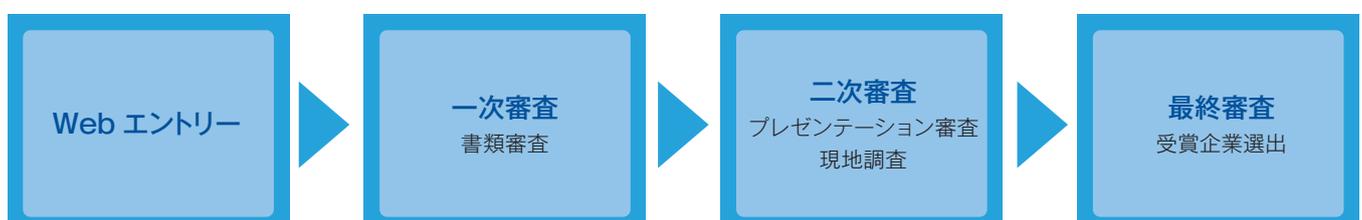
## 製品安全対策優良企業表彰の審査概要

審査にあたっては「安全な製品を製造・輸入（仕入・販売）するための取組」、「製品を安全に使用してもらうための取組」、「出荷後に安全上の問題が判明した際の取組」、「製品安全文化構築への取組」の4つの視点から評価を行いました。「特別賞」は、「製品の安全を確保・支援するための取組」、「製品安全文化構築への取組」の2つの視点から評価を行いました。

一次審査では、審査委員が応募シートに記載された内容に基づき書類審査を行い、製品安全に関する取組の内容について評価しました。その後、各審査委員の評価結果に基づき審査委員会において審査を行い、一次審査通過企業を決定しました。

二次審査では、一次審査通過企業を対象として「プレゼンテーション審査」を行い、特にアピールしたい各社の製品安全に関する取組を紹介していただきました。また、紹介いただいた取組内容を確認するため、審査委員が現地に赴き「現地調査」を実施しました。

最後に、プレゼンテーション審査と現地調査の結果を基に審査委員会において最終審査を行い、受賞企業13社を選出するに至りました。





## 優良賞 (審査委員会賞)

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

## 富士スレート株式会社

弊社は台風災害の多い四国の徳島県でセメント瓦の製造をすることで1945年に創業いたしました。阪神大震災を経て1998年には軽量防災瓦『エアルーフ』を発売しました。

様々な自然災害に対して、命や財産など『大切なものを守る』という使命感を持って、屋根に対する顧客の安心へのニーズに応えるべく、従来の重く割れやすい屋根瓦ではなく、軽く風雨に強く砕け割れない安全な軽量防災瓦を提供してまいりました。今回いただいた賞は弊社にとってのスタートラインであるという思いをもって、IT・IoTを活用し、ドローンやメンテナンス施工サービスを含めた取組でお客様の安心への期待に長期間にわたって安心して頂くべく、終わりのない製品安全のゴールを目指して応えて参ります。

## FUJISLATE

- 設立: 1949年
- 代表者: 代表取締役社長 馬淵 祐三
- 従業員数: 89名(2022年10月)
- 所在地: 徳島県板野郡
- 事業内容: 屋根瓦製造 販売 屋根瓦製造機械販売 セメント他建材及び太陽光発電販売これらの施工販売
- U R L: <https://fujislake.com/>
- 受賞歴: 初受賞



## 優れた取組紹介

## 独自の安全基準の設定とそれを実現するための試験設備の充実

瓦について消費者から期待される製品安全上の要求事項7項目を特定し、それぞれについて公的な基準や試験方法に加えて、使用環境等においてより過酷な状況を見据えた独自の基準や試験方法を設定している。試験装置や設備を自前で製造することで、自社の設計基準に則った評価や、不具合が発生した際の原因究明、新製品の開発段階における検証がスムーズに実施できている。

## 均質で継続的に安全な製品を製造するための工夫

自社で瓦製造プレス機の設計製造や瓦金型の製造を行っており、製品の設計変更や改善要望を迅速に反映できる体制を備えている。金型の研磨回数の設定とそれを確認できる工夫により均質で安全な製品の製造とトレーサビリティの把握の実現を図っている。海外子会社の製造工程と検査工程においてウェブカメラなどの最新技術を導入し、また将来的には海外子会社におけるより安全な製品の製造の実現に向けてAIの活用も計画し、国内からの指導等によりその精度を高めている。

## 長期にわたって安全な使用が継続できる体制の確立とその発展

販売、工事、修理に関する顧客情報や販売終了した製品の金型を30年以上にわたって保存・管理することで、長期にわたって製品の安全な使用が継続できる体制を構築・運用している。顧客情報のクラウドシステムへの移行やドローンを活用した点検写真を記録していくことを志向するなど、最新技術を積極的に活用することにより、さらなる取組の発展を目指している。



## 消費者へのコメント

毎年、想定外や史上最強と言われる台風やゲリラ豪雨、また、南海トラフ大地震への備えなど、お客様の安心に対する屋根瓦への期待に対して長期にわたって安心感を持っていただけるように製品改善や屋根メンテナンスを含めた製品安全で応えながら、安全な軽量防災瓦のさらなるサービスと製品展開を進めてまいります。